

科目名 Subject	ネイル技術Ⅱ Nail Techniques Ⅱ			教員名	ネイルチーム	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	実習	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	○		◎	○		
科目の概要	ネイル技術Ⅰで習得した技術を踏まえ、ネイル技術体系のひとつであるイクステンションの理論と技能を学び、造形的なネイルアートの制作を行う。イクステンションの知識を基にソークオフタイプのジェルの技術を学びプラクティスハンドと自爪に施術する。様々な爪の形状に対してどのように施術したらよいか、自ら考えて課題を解決する能力を養う。接客業として多様な価値観のお客様に対応できるように他者の考え方を理解し受け入れる能力を養う。  関連科目として、トータル的な美を追求するために「メイクアップⅡ」や色彩学を学ぶことが望ましい。その他、ネイルビジネスを意識した他者へのホスピタリティーとして接客に関する科目を学習することが望ましい。					
授業方法	対面授業（ただし、コロナ感染症の状況によりオンラインと対面のハイブリッド）					
授業の目標	ネイル技術Ⅰで学習した知識と技術を活かしてイクステンション（人工爪）の技術を他者に施術できる。他者に対して似合うネイルカラーやデザインを考えて提案することができる。 爪の状態を確認しながら衛生面に留意して施術できる。 ネイルアートのデザインの工程を分析して制作することができる。 様々な爪の形状に対してどのように施術したらよいか、自ら考えて課題を解決し実践することができる。					
時間外学習 （予習・復習）	ネイルの資格取得にあたり、授業以外においても各自で反復練習を行うこと。技術においては1回につき60分程度の復習を行なうことが望ましい。					
教科書・教材	教科書	『JNAテクニカルシステムBASIC 第3版』発行：NPO法人日本ネイリスト協会 出版年：2020年 ・教員作成資料				
	教材	配付教材は別紙参照 ＊授業初回で配付します				
	使用設備・備品	なし				
	参考文献	『ネイル・プロフェッショナル』 第4版 発行：（株）インターメディカル 出版年：2011年				
評価方法	授業内での作品課題20%、筆記試験40%・実技試験40% 筆記試験は上記のテキストと授業内での配布資料より出題します。					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。					
履修上の注意	授業の実習について開講期間中はナチュラルネイルとし、カラーリング、人工爪などは全て除去してください。授業内で迷惑行為にあたる言動は慎むこと。実技はプラクティスハンドと自爪で行います。毎回マスクと実習着またはエプロンを着用してください。 ＊「ネイル技術Ⅰ」の単位取得が履修条件です。					
本科目履修と関連する資格	資格名	JNEC ネイリスト技能検定2級				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第1回	・オリエンテーションを行う ・道具、器具の扱い方を理解する ・テーブルセッティングを理解する	道具、器具の扱い方、マニキュア化粧品 の成分を知りし、ネイルサロンと同様の衛生措置を行うことができる。	爪の構造と薬品名とその特徴を覚える。 復習60分
第2回	・ネイルケア・カラーリングを行う ・チップラップを自分の爪で実践する	前期で習得したネイルケアの技術を相手に施術することができる。チップラップの道具を正しく扱うことができる。	チップラップに必要な道具と薬品の特徴及び技術工程について説明できるように復習する。復習60分
第3回	シェラック① ・「ジェル」と「ポリッシュ」の強みを併せ持った、ハイブリッドネイルケアシステムを学ぶ	材料の特長、使用方法を述べることができる。	次週までにアートのデザインを考えてくる。予習60分 * 作品制作はネイルチップを使用します。
第4回	シェラック② ・作品制作を行う	アート用の素材を工夫してデザインを考えて制作することができる。	授業で使用したジェルネイルの機材の特徴を覚える。JNEC検定受験者グループは試験要綱に沿ってタイム計測を行う。70分
第5回	スカルプチュアネイル① ・アクリルスカルプチュアの理論を学ぶ ・筆の扱い方、フォームの装着や材料の特長、技法を学ぶ	人工爪の理論、製品の特長を活かして技術を行うことができる。	長さを出すためのフォームの装着がスムーズにできるように練習する。復習60分～90分
第6回	スカルプチュアネイル② ・実技を学び、実践する	スカルプチュア技術を手順どおりに実践することができる。	美容実習やメイクアップ等の授業に支障の無いように、人工爪は授業内で除去する。理論と技術工程の復習を行う。復習60分
第7回	・チップオーバーレイを学び、実践する	正しく製品を扱い、自分の爪に施術することができる。	スカルプチュアとチップオーバーレイが同じ形状に仕上げられるように復習する。復習60分～90分
第8回	・3D、エンボスアート技術を学び、実践する	材料を正しく扱いながら立体的なアートを作ることができる。	次週のアートのデッサンを考えてくる。その他、必要に応じて装飾品を持参する。予習60分
第9回	3D、エンボスアート② ・アート制作を行う	アクリル素材を使用して立体的にアートを表現することが出来る。テーマを考えて作ることができる。	モノマーとポリマーを適した分量で混合し、スカルプチャーやエンボスアートがスムーズに作成できるように復習する。60分～90分
第10回	ジェルネイル① ・理論を学び、実践する	ジェル用品に関する理論と使用方法に基づいて、材料を扱うことができる。	ジェルネイルの成分と使用する機材の特徴を覚える。復習60分～90分
第11回	ジェルネイル② ・フローターの技法を学び、実践する ・オフの方法を学び、実践する	正しい手順の技術で、自分の爪に施術することができる。	ハードジェルとソーコフジェルを自爪から除去する技法の違いを復習して覚える。60分
第12回	ジェルスカルプチュア① ・材料の理論と使用方法を理解してジェルスカルプチュアを実践する。	材料の理論と使用方法に基づいて、実践することができる。	長さを出すためのフォームの装着がスムーズにできるように練習する。復習60分
第13回	ジェルスカルプチュア② ・実技を行う	自爪で実践し、手順どおりに実践することができる。	次週のアートのデッサンを考えてくる。予習60分 必要に応じて装飾品を持参する。
第14回	・ジェルを使用した作品制作を行う	色彩と共にテーマに沿ったアートを描くことができる。 装飾品を使用して作品を作ることができる。	これまでの理論のまとめとしてテキストP8～59までを復習する。復習60分～90分
第15回	ネイル技術のまとめを行う 理論と技術を理解する	スカルプチュアや3Dを取り入れながら独創的なネイルアートの作品を作ることができる。	他者の要望に応じてスカルプチュアやエンボスアートを時間を意識しながら実践する。復習60分